

本島における事前調査結果

令和元年9月13日

1. 実施概要

【調査概要】

調査目的	沖縄本島でのオープンデータの整備に先立ち、事前の調査として、旅先での公共交通（路線バス、モノレール、船舶）の情報をどのように収集し、どのような点に不便を感じているのか把握する。
調査対象	沖縄本島及び本島周辺離島を訪れ、公共交通（路線バス、モノレール、船舶）を利用した国内外観光客（極力帰る前の観光客を対象）
調査日時	令和元年7月14日（日）、16日（火） 10:00～17:00
場所	那覇空港 国内線・国際線の搭乗待合室
調査方法	調査員による聞き取りあるいは、観光客による記入のいずれかで実施 ※別途、周遊パス購入者に対してもアンケート配布を実施
有効回答数	計323票（国内客 196票、海外客 127票）

【調査項目】

- ・ 個人属性（年齢・性別・居住地）
- ・ 旅行内容（沖縄県の来訪回数、同行者、宿泊数、来訪目的、交通機関、訪れた観光地）
- ・ 公共交通を利用した理由
- ・ 路線バス、離島船舶、モノレール情報の収集・検索方法
- ・ 路線バス、離島船舶、モノレール情報を収集・検索する上で困ったこと など

2. 事前調査結果

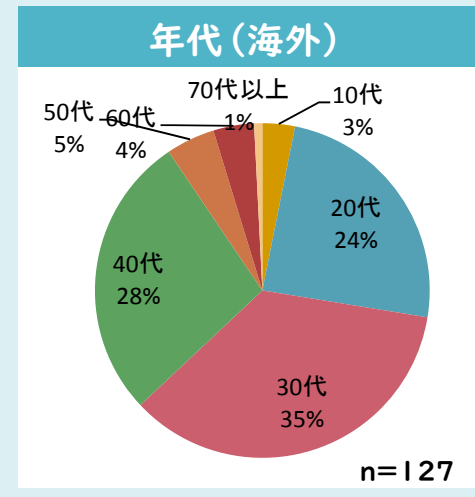
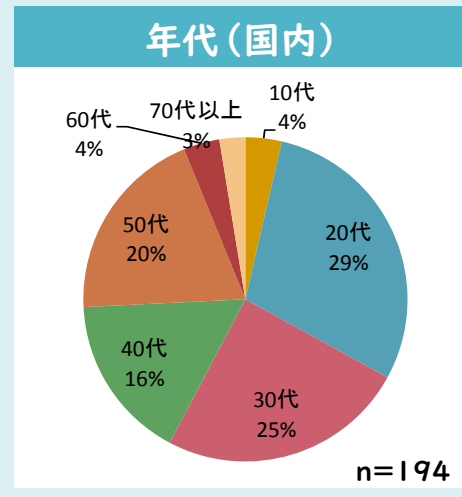
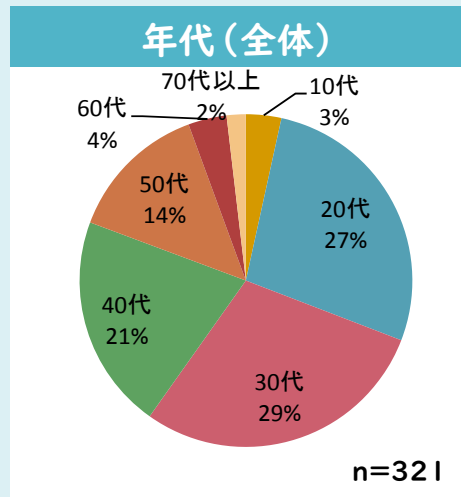
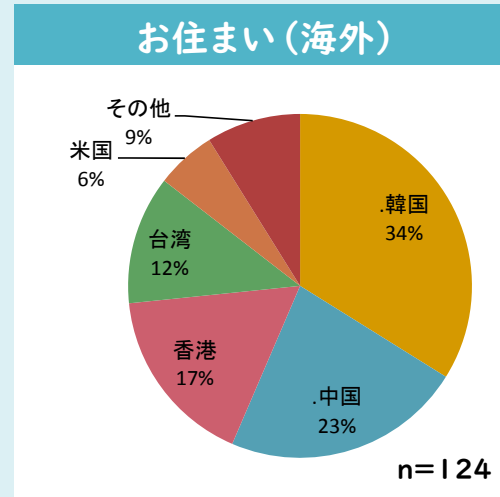
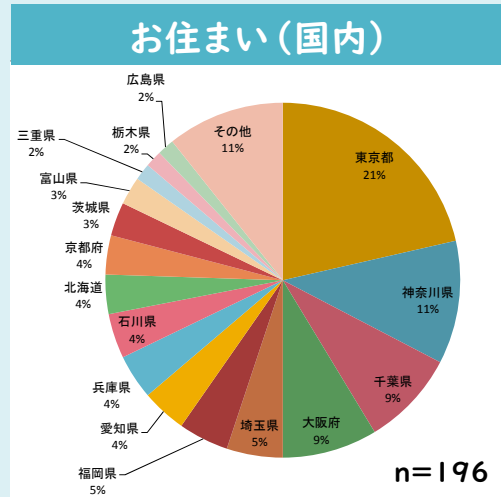
① 基本情報 (お住まい・年代)

【概要】

『お住まい(国内)
関東地方が半数
⇒大阪、福岡など主要空港
がある地域からの来訪も
一定程度

『お住まい(海外)
韓国、中国、香港
の順に多い

『年代
20~30代が6割
⇒国内、海外の
年代傾向は
類似



2. 事前調査結果

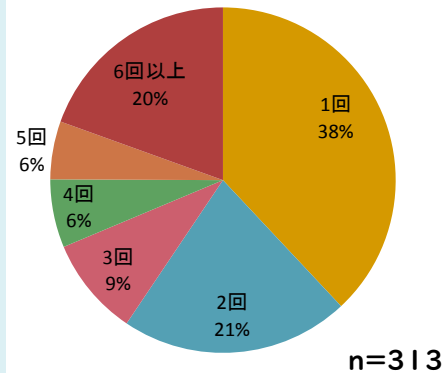
① 基本情報（来訪回数・宿泊数）

【概要】

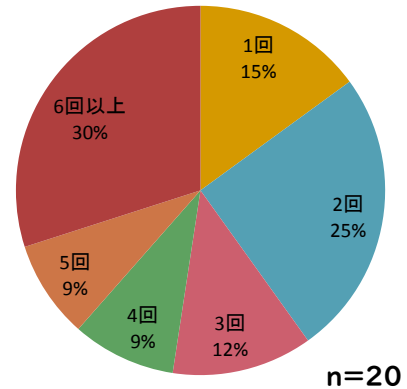
沖縄県の来訪
全体は初めて4割
⇒国内は2回以上が約8割
⇒海外は1回が約7割

宿泊
全体は2泊、3泊が約6割
⇒国内は2泊が約4割
⇒海外は3泊以上が国内より多い
⇒海外はロングステイの傾向

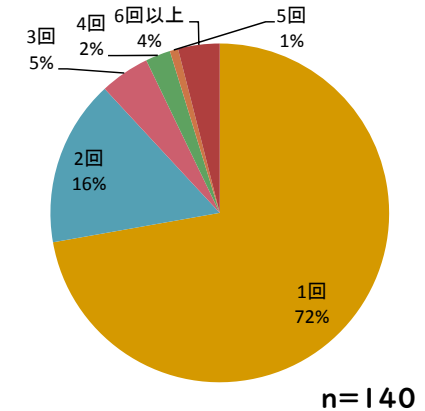
沖縄県の来訪回数（全体）



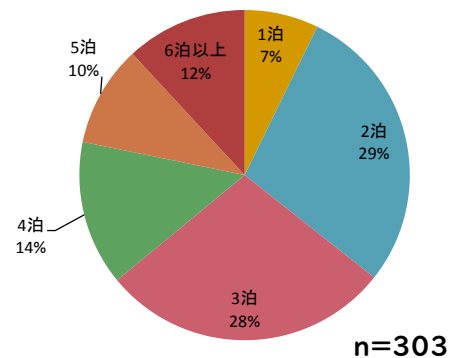
沖縄県の来訪回数（国内）



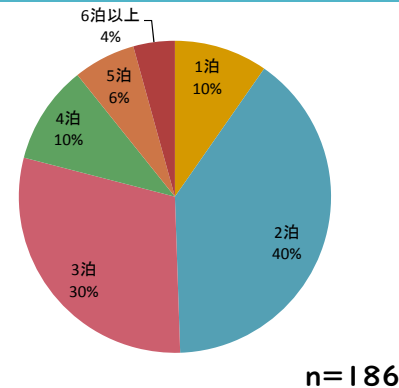
沖縄県の来訪回数（海外）



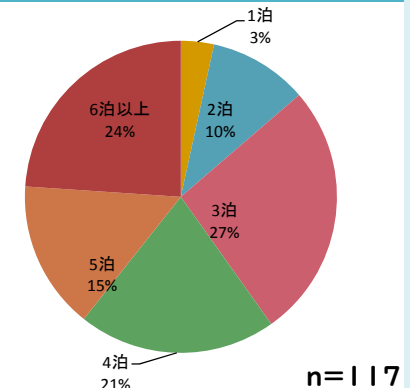
宿泊数（全体）



宿泊数（国内）



宿泊数（海外）



2. 事前調査結果

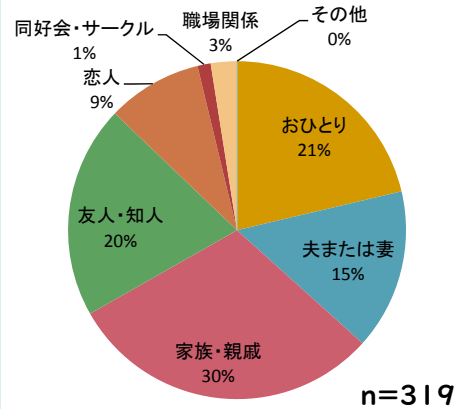
①基本情報（同行者・人数）

【概要】

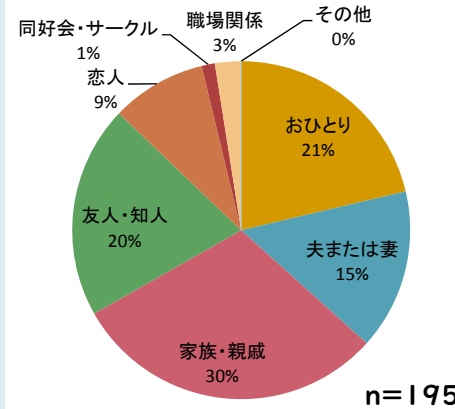
同行者
 家族・親戚が最も多く約3割
 ⇒国内はひとりが約2割
 ⇒海外は同行者が多い傾向

人数
 2人が最も多く約4割
 ⇒八重山より一人旅行が多い傾向
 ⇒国内はひとりが約3割
 ⇒海外はひとりが約1割

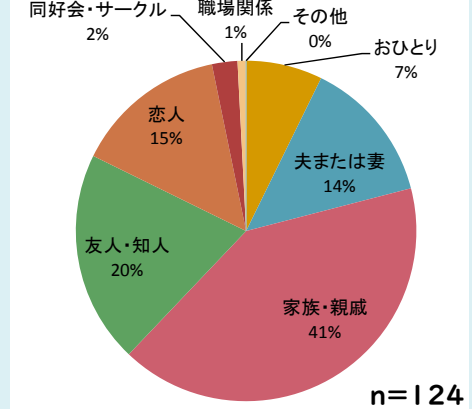
同行者（全体）



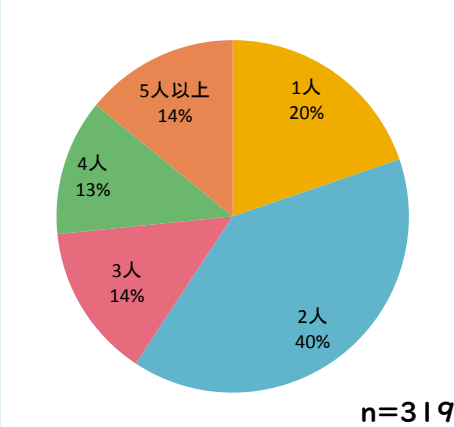
同行者（国内）



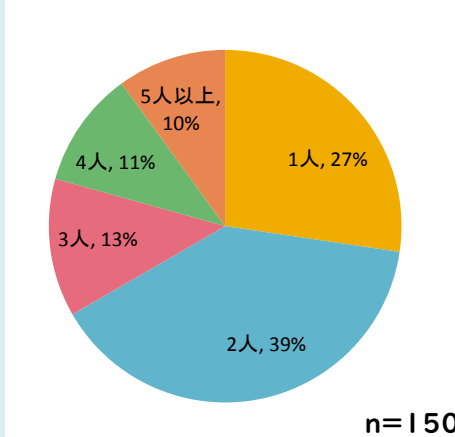
同行者（海外）



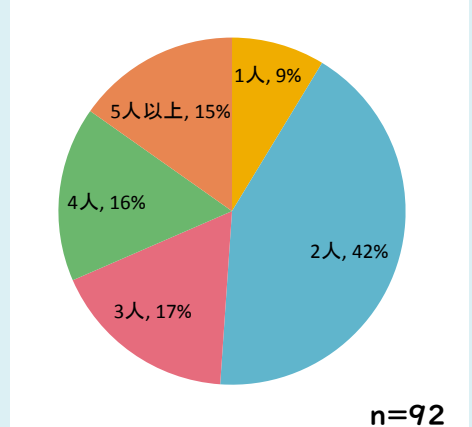
人数（全体）



人数（国内）



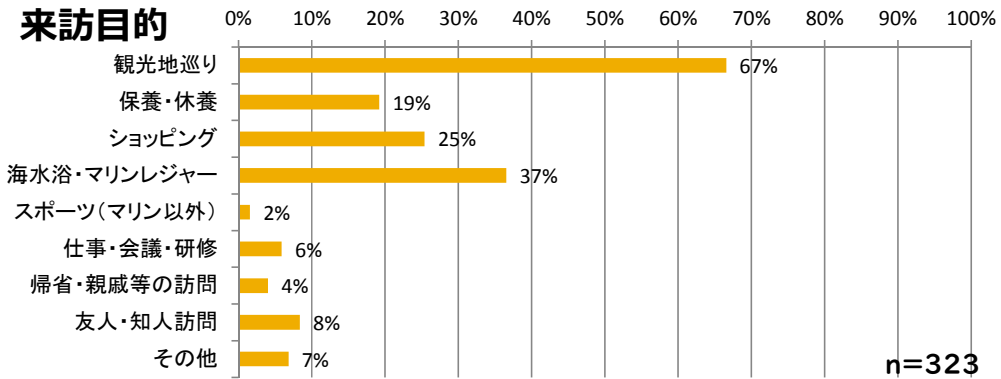
人数（海外）



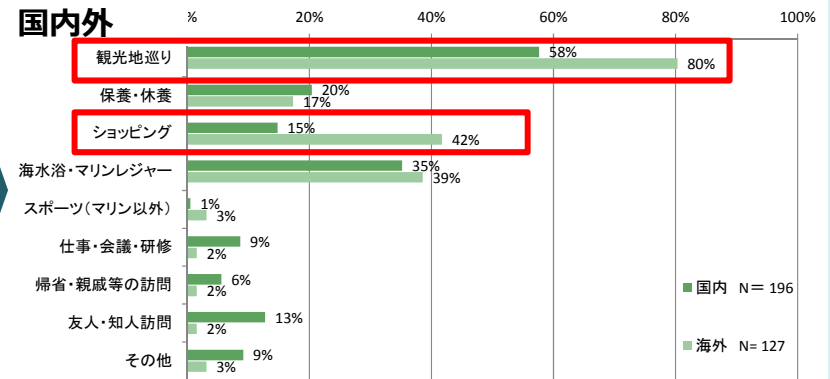
2. 事前調査結果

② 来訪目的・交通手段

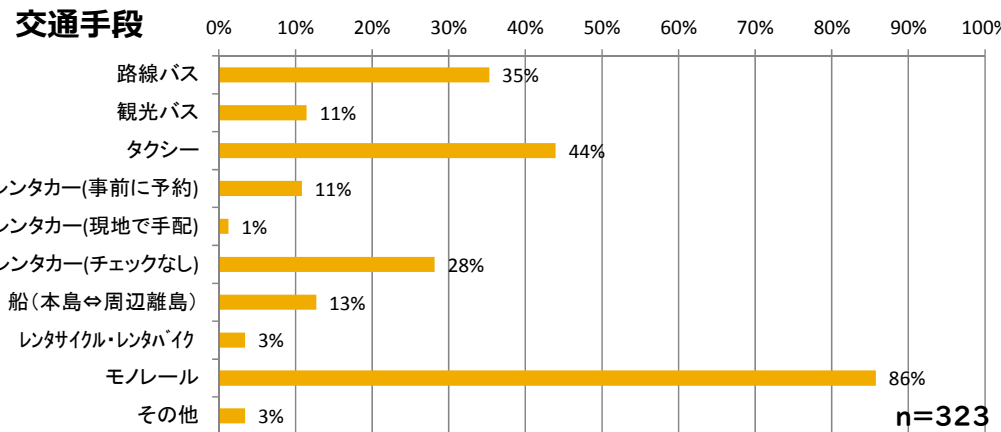
観光地めぐりが約7割、海水浴・マリレジャーが約4割



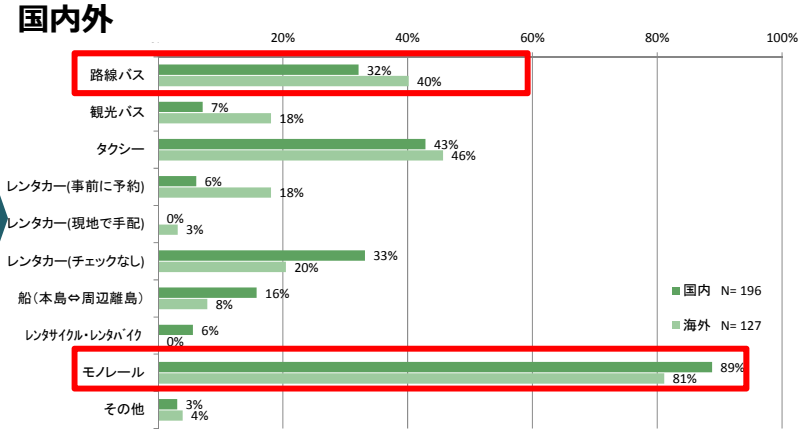
海外はショッピング、観光地めぐりが国内よりも高い傾向



モノレールが約9割、路線バスは約3割、船は約1割



海外のほうが僅かに(3ポイント)路線バスが高い
国内はモノレールの利用が高い

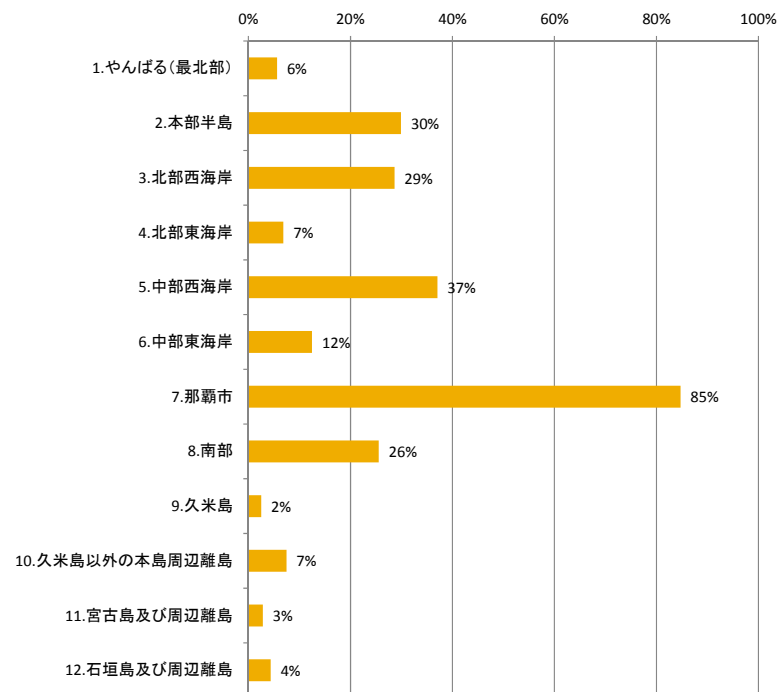


2. 事前調査結果

③ 訪問先

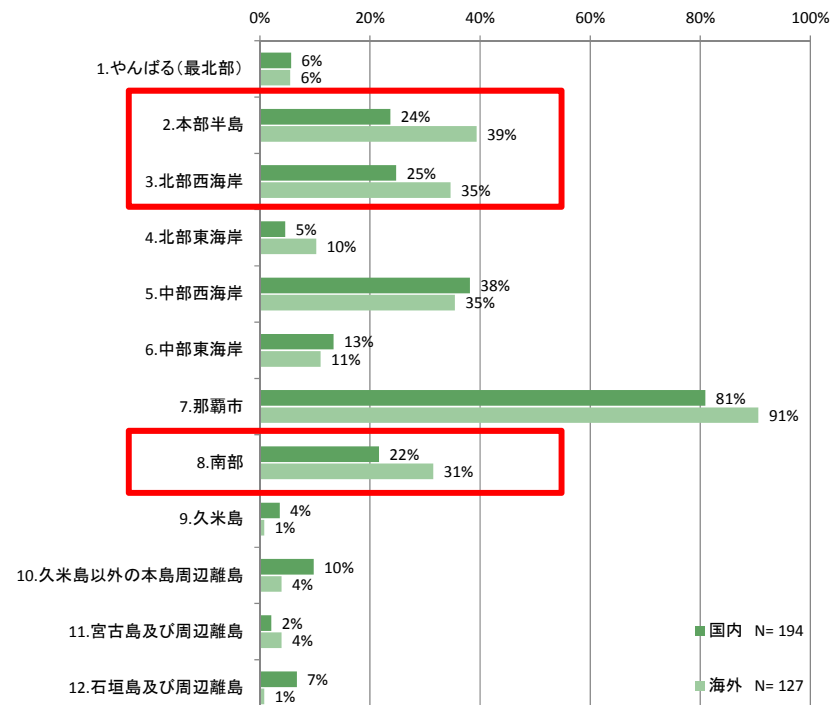
訪問先として多い順に那覇市、中部西海岸、本部半島、北部西海岸、南部

全体



国内客は那覇市に次いで中部西海岸が多いが、海外客は本部半島、西海岸、南部が多い傾向

国内・海外



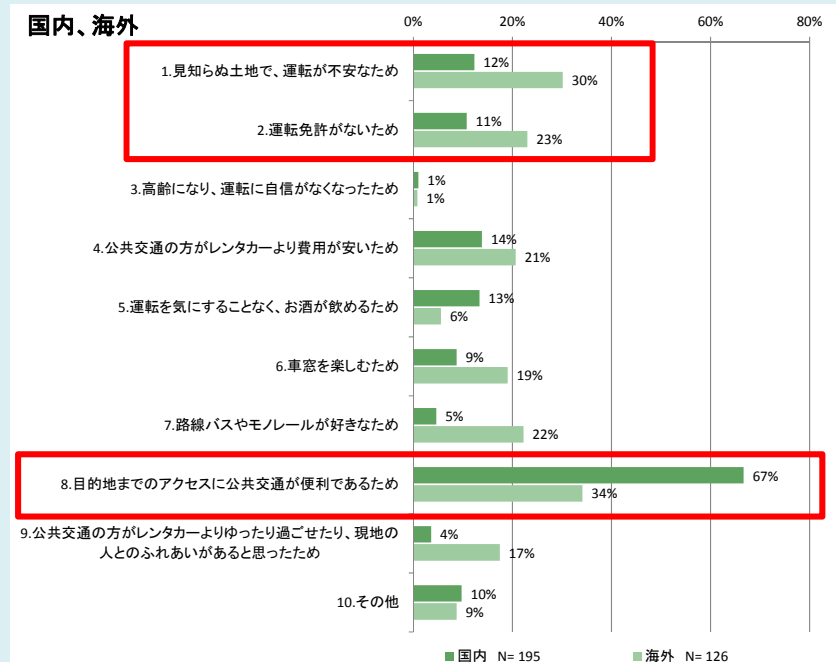
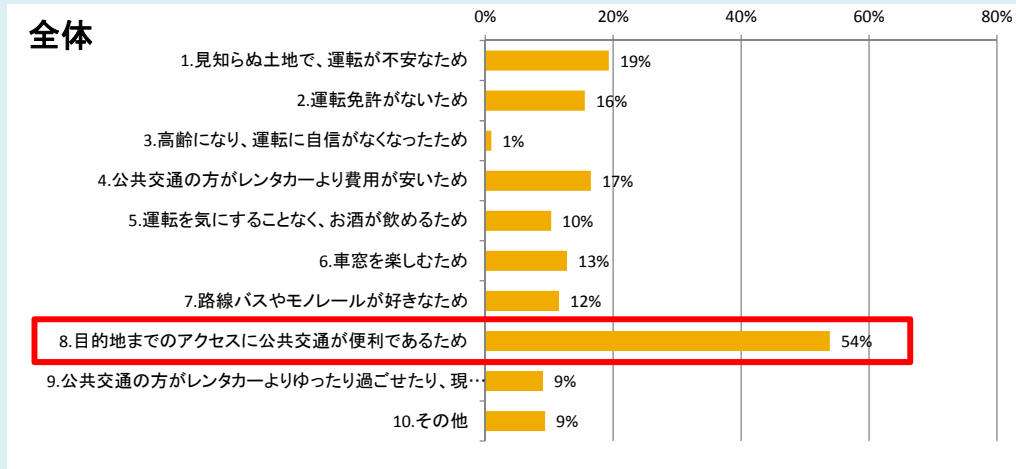
2. 事前調査結果

④ 公共交通を利用した理由

- ・目的地までのアクセスに公共交通が便利であるとの回答が約5割と最も高い
- ・次いで、運転が不安なため、免許がないため等の理由が多い

- ・海外客のほうが、国内客より「運転が不安」、「運転免許がない」の割合が高い
- ・また、「車窓を楽しむ」「バス・モノレールが好き」「ゆったり過ごせる」等の公共交通での移動を楽しむ意見の割合が国内より高い

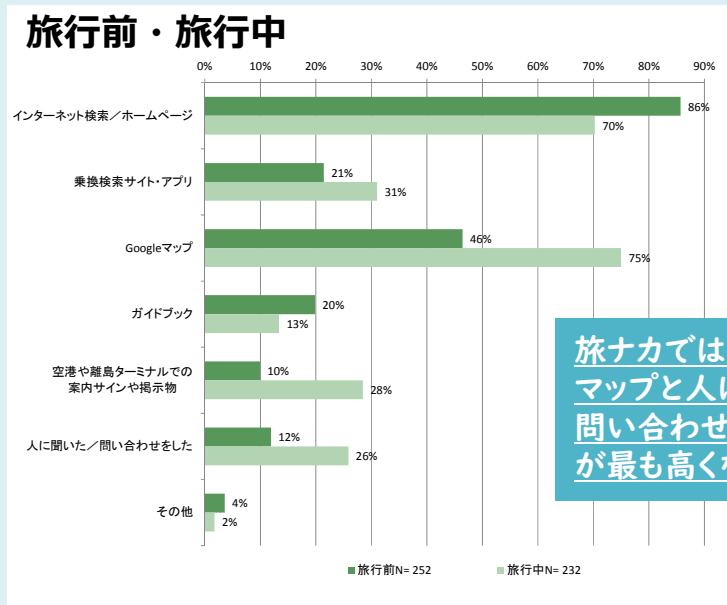
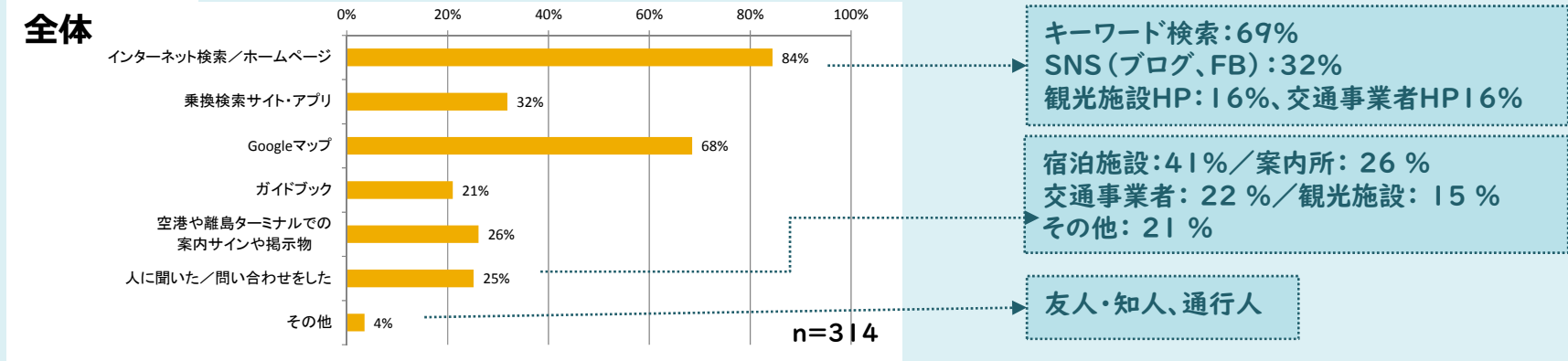
- ・国内客は海外客に比べて「アクセスに便利」の割合が高い



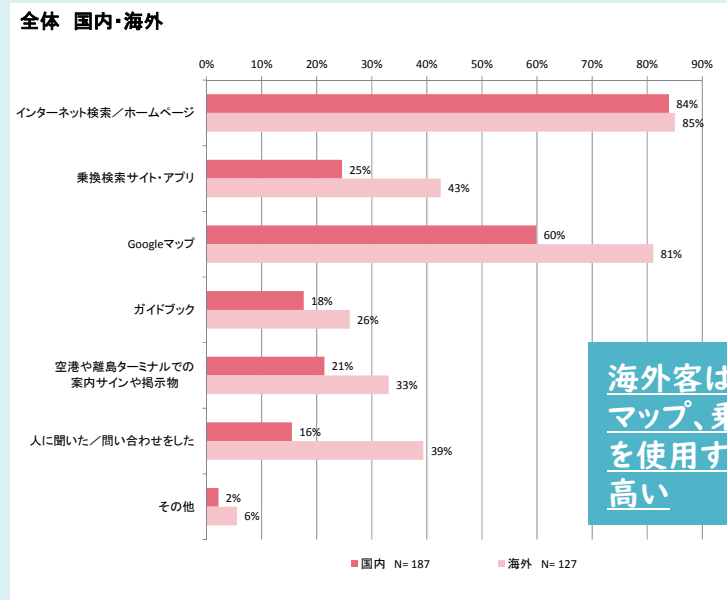
2. 事前調査結果

⑤ 公共交通情報の収集・検索方法

- ・旅マエはインターネットが約9割と最も多い
- ・旅ナカでは、Google マップが最も多く約8割（インターネットは約7割）



旅ナカではGoogleマップと人に聞く・問い合わせの割合が最も高くなる



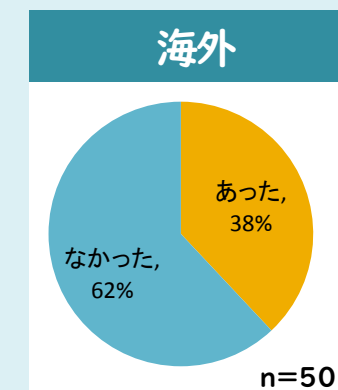
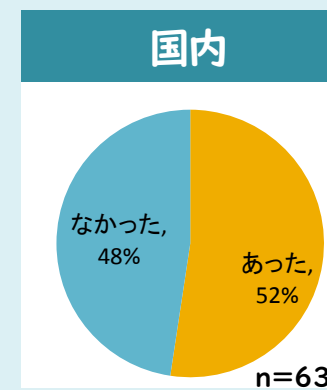
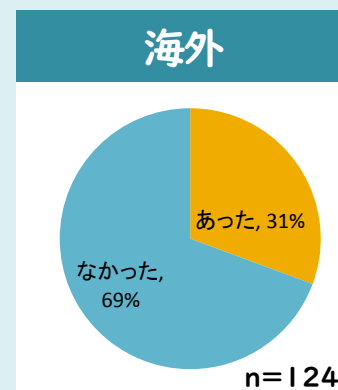
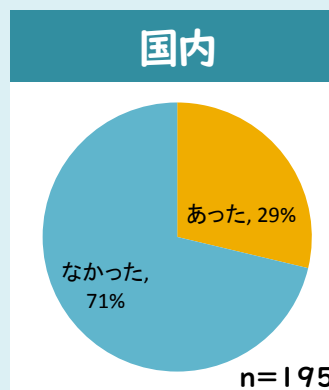
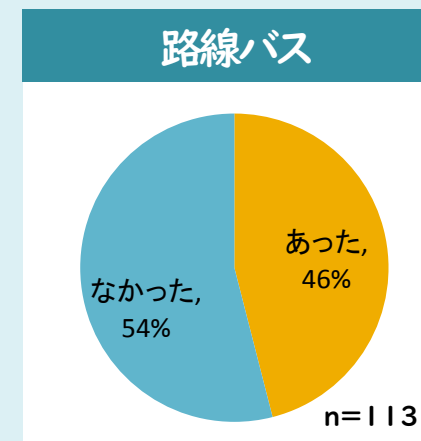
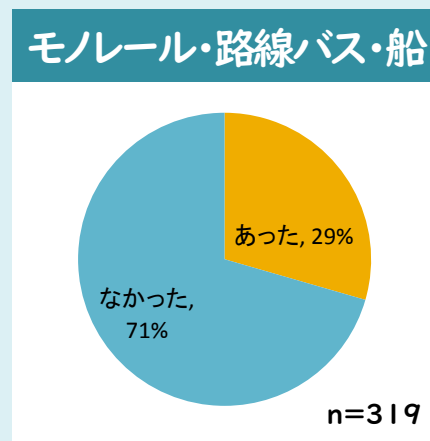
海外客はGoogleマップ、乗換サイトを使用する割合が高い

2. 事前調査結果

⑥ 検索する上で困ったことや不便に感じたこと

- ・モノレール、路線バス、船舶のいずれかを使った方では、約3割が「困った・不便」と回答
- ⇒一方で、路線バスを使った方に絞ると、約5割が不便があったと回答
- ⇒路線バスのみでは、国内のほうが困ったことがあった割合が高い

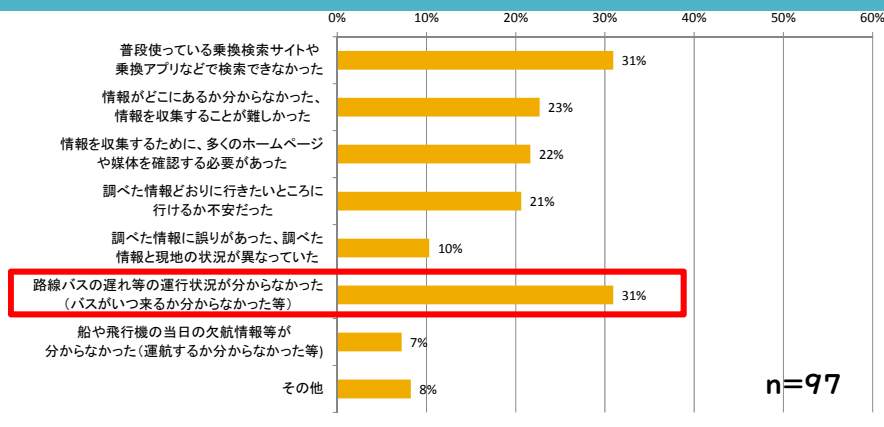
検索する上で困ったことや不便に感じたこと（あった・なかった）



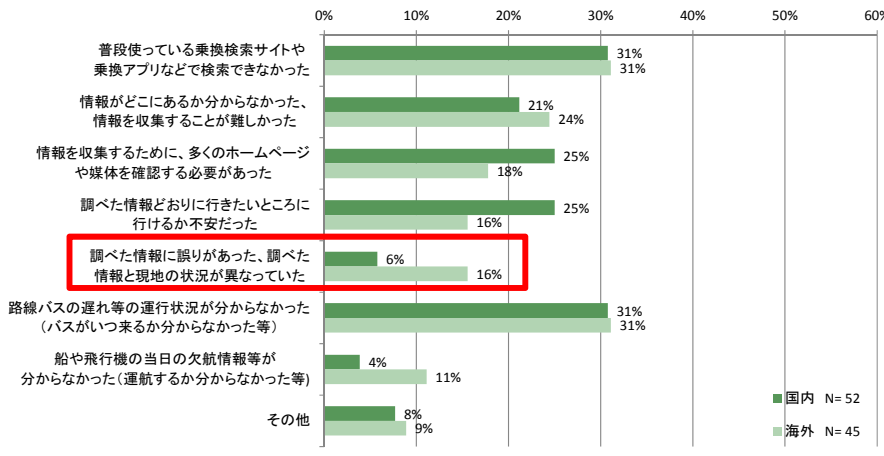
2. 事前調査結果

⑦ 検索する上で困ったことや不便に感じたこと

・バスの遅れ情報が分からなかったが最も多い



▶ 全体では、海外は「調べた情報に誤りがあった、状況が異なっていた」が国内より高い
国内・海外



自由記述まとめ

【現地での案内】

- ・外国人としては、コミュニケーションがとりにくかった
- ・バス会社が休みだった

【HPでの表示方法】

- ・バス会社HPのバス時刻表がPDFで読み込みに時間がかかった

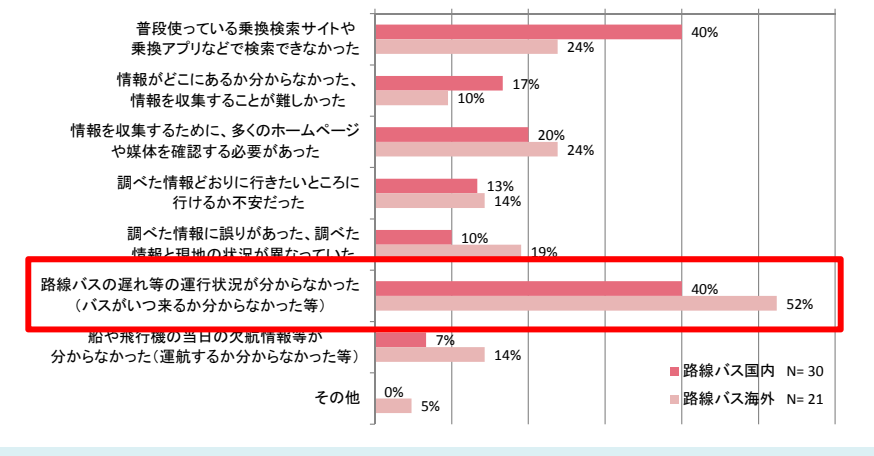
【乗り場や路線種類】

- ・現地につくまで、直行、路線があること、乗り場がわかれていることが分からなかった

【リアルタイム情報】

- ・イベントにより連休だった

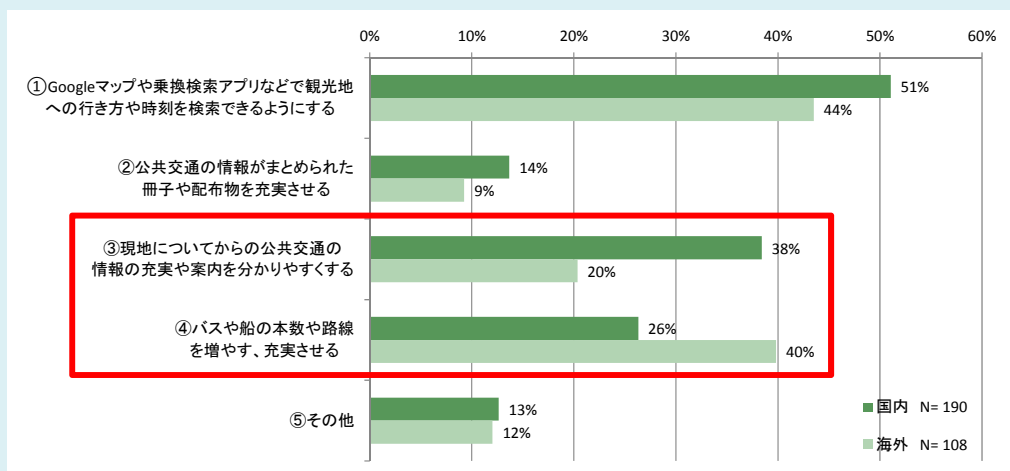
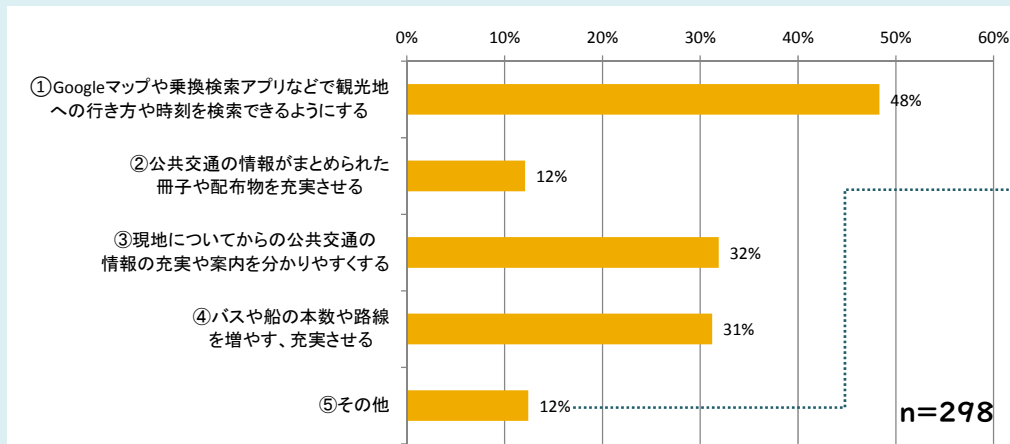
▶ 路線バス利用者では国内は「サイトでの検索ができない」が4割、海外は「遅れがわからない」が5割
路線バス利用者 国内・海外



2. 事前調査結果

⑧ 観光での公共交通の利用促進のために大切なもの

- ・Google マップや乗換検索アプリなどでの検索との回答が約5割（国内海外とも最も多い）
- ・次いで、「現地の情報・案内の充実」、「バスの便数・路線数の充実」が約3割
- ⇒国内は「現地の情報・案内の充実」、海外は「バスの便数・路線数の充実」の割合が高い



【情報の充実】

- ・空港等の主要拠点からの発着は容易だが、マイナーな地点間のバス移動に難点がある
- ・ネット上の情報の充実
- ・バスの乗り方のルールを掲示してほしい

【リアルタイム情報】

- ・Google マップ通りにバスが来なかった
- ・運賃のあがるタイミングがわからなかった

【外国人対応】

- ・バスが韓国語対応していなかったのが不安だった
- ・日本のバスはお釣りが出ないので不安
- ・バスの運転手が外国人にも関わらず忍耐強く説明してくれて助かった

【その他】

- ・夏は暑すぎるので、涼しい待合所を設けてほしい
- ・モノレールが混んでいた
- ・改札に時間がかかりすぎる
- ・SUICAなどの全国規模のICカードを導入してほしい